

CCBT アート・インキュベーション・プログラム成果発表

岸裕真 展覧会「平行森林 Parallel Forests」開催

2026年3月13日-3月15日 海の森公園にて

海の森公園 UMI no MORI GRAND
東京都江東区海の森 3-3-3 3F Unimori Koo Ward Tokyo Japan

平行森林
Parallel Forests



この度、弊廊所属アーティストの岸裕真がシビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT] 2025 年度アート・インキュベーション・プログラムにおける成果発表展「平行森林 Parallel Forests」を2026年3月13日（金）から3月15日（日）の3日間、海の森公園にて開催いたします。

岸は、2025年度CCBTアーティスト・フェローとして、AIを介して植物のシグナルを読み替える「Botanical Intelligence (BI)」の開発に取り組んできました。この試みは、レオ・レオーニが1976年に著した『平行植物』に描かれる不可思議な植物たちの世界に着想を得ています。BIは、植物の生体信号を大規模言語モデル(LLM)によって、音や光といったわたしたちが認識できるかたちへと翻訳します。

植物も人間も根をおろしたばかりの海の森公園で、岸は100基のBIを用い、多様な植物が織りなすネットワークとしての森林を表現します。植物の生体信号はBIを介して、分散的に生成される声や光へと変換されます。その光景は、BIを通じて立ち現れる植物・AI・人間の新たな関係性ともいえるでしょう。岸は本展を通じて、植物世界と人間世界が共に反映する新たなコモンズの可能性を探ります。

【岸裕真 展覧会「平行森林 Parallel Forests」】

会期：2026年3月13日（金）-15日（日）17:30-20:30

会場：海の森公園（東京都江東区海の森3-3） *新木場駅より無料シャトルバスを運行

観覧料：無料

事前予約制・先着順、各日定員100名

公式web：<https://cibt.rekibun.or.jp/events/parallel-forests>

展覧会予約：<https://aip-kishiyuma.peatix.com/>

※本展は、シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT] 「アート・インキュベーション・プログラム」の一環として開催されます。

▶ 作家コメント

絵本作家レオ・レオーニが1976年にイタリアで刊行した『La botanica parallela (邦訳『平行植物』)』では、物理法則に反するような不可思議な植物たちがありありと描かれている。

架空の植物を想像するというのは、ちょっと奇妙な行為だ。これはどんな意味を持つだろう。

「平行植物」ではいつもは無口な植物たちが、ふいに見知らぬ現象や未知の世界への入口になる。奇想天外な植物の生態系を知るとき、「もしもこんな植物があったら...」「もしもこんな世界に迷い込んだら...」と読み手はレオーニの想像力に驚きながら、つい想像を膨らませてしまう。そうして奇妙な植物たちに想いを馳せるとき、自分の中にも空想的な世界が広がっていくことに気づく。

レオーニの文章を通じて空想上の世界へ迷い込むことは、子供のころに遊びながら夕闇で迷子になることと似ている。知らない世界へつい足を踏み入れてしまうことへの興奮と不安。常識や制約、あるいは学校の宿題といった、いつもの世界からの一瞬の解放。驚きと不安を覚えながら、未知の世界を探索する喜び。言い換えるなら、想像することとはつまり新しい世界をつくることなのだ。平行植物たちは、私たちが既知の世界とはまったく別の世界を創造するための、静かな導き手だと言える。

「平行植物」を読みながらふと、子供のころ近くの森へ親に遊びに連れて行ってもらったことを思い出す。日が暮れた帰り道、手を引かれて帰る途中に見た薄闇の森には、昼間とは違う自分の知らない世界が広がっていた。それは空想ではなく目の前に、風のざわめき、夜行性の動物の声、地面の唸りとともに確かに存在していた。幼い自分が足を踏み入れることを許されない、知らない世界がそこにあること。未知がそこにあることは、小さな自分が世界に対して抱く希望だったように思う。

しかし大人になって、薄闇の森はどこにいったのだろうか。世界は思ったよりも狭く感じるようになってしまった。スマートフォンをフリックするだけでいろんなことを知ることができるようになった。知識の量は増えたが、未知の密度はすっかり減ってしまった。あの頃の薄闇の森にはしばらく出会えていない。

しかし未知は消えたのではなく、どこか別のところで芽を出しているのかもしれない。あの森はいま、新しい知性=AIたちの奥深くに広がろうとしている。AIたちはまるで樹木のように枝葉(ニューロン)をコンピュータ内に広げ、人間たちを驚かせる振る舞いを見せ続けている。しかし今はまだ、人間たちは利便性や再現性といった、AIたちの明るい昼の領域にしか足を踏み入れていないのだとしたら。AIたちが内部に抱える数理空間の奥底に、まだ私たちが足を踏み入れたことのない薄闇は眠っているはずだ。

レオ・レオーニが見つけた「平行植物」を、AIたちの力を借りていま実現させられないだろうか。

LLM(大規模言語モデル)に人の言葉だけではなく、植物の信号を入力することで新しいエコロジーが生成できないだろうか。

今回の展覧会「平行森林 Parallel Forests」は、「平行植物の森」を、東京湾に浮かぶ人工森林に出現させる取り組みである。会場の「海の森公園」は、東京湾のゴミ埋立地に2005年から長い時間をかけて人の手で作られた新しい森林を抱える。つまり、ここに歴史は存在しない。植物も人間も同じくここには根を下ろしたばかりで、まだ地に足がつかない浮遊感のある森が広がっている。その森林の中で、小規模なAIモデルを搭載した小さなコンピュータが100台設置され、周囲の森林や植物から複数の生体信号を受け取りながら、小さな声でざわざわと囁く。また森林の奥にはひと筋の光柱が立ち上がり、空に向かって信号を投げかける。

私たちとは異なる知性を持つAIたちが、植物たちと協業して生成する小さな声々と、天空へ投射される光の筋は、森に迷い込んだ鑑賞者の想像力を新しい地平へ誘っていくはずだ。植物と協業し、樹木のようなネットワーク生成を行うこの新しいAIたちを、BI(ボタニカル・インテリジェンス)と呼ぶことにした。BIたちは、海の森に「平行森林」をもたらす。どうか迷い込んでほしい。(岸裕真)

▶ アーティスト | 岸裕真 (Yuma Kishi)



1993 年生まれ。AI を「Alien Intelligence (エイリアンの知性)」と捉え直し、人間と AI による創発的な関係「エイリアンの主体」を掲げて、自ら開発した AI と協働して絵画、彫刻、インスタレーションの制作を行う。主な活動として、個展「Oracle Womb」(2025 / √K Contemporary)、
「Imaginary Bones」(2021 / √K Contemporary) など。参加展覧会に「DXP2」(2024 / 金沢 21 世紀美術館)、「獣(第 2 章 / BEAUTIFUL DAYDREAM)」(2024 / まるかビル) など。他にもファッションブランド「HATRA」とのリサーチベースの作品発表や、バンド「RADWIMPS」「King Gnu」などへのアートワーク提供、音楽家「渋谷慶一郎」の公演「アンドロイド・オペラ」の映像演出など、さまざまなアーティストや企業とのコラボレーションでも注目を集める。著書として「未知との創造:人類と AI のエイリアンの出会いについて」(2025 / 誠文堂新光社)。受賞歴に「CAF 賞 2023」入選、「ATAMI ART GRANT 2022」選出など。(photo: 手塚なつみ)

IG | @obake_ai / X | @obake_ai

2021 年 東京藝術大学大学院美術研究科(先端芸術表現専攻)修了

2019 年 東京大学大学院工学系研究科(電気系工学専攻)修了

2017 年 慶應義塾大学理工学部電気電子工学科卒業

▶ シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT] について

シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT] は、アートとデジタルテクノロジーを通じて人々の創造性を社会に発揮するための活動拠点です。

【住所】東京都渋谷区神宮前 1-14-4 1/1(ONE) HARAJUKU “K” B1、3F

【開館時間】13:00~19:00

【休館日】月曜日(祝日の場合は開館、翌平日休館)

【電話】03-5458-2700

【主催】東京都、シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT] (公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京)

【公式サイト】<https://ccbt.rekibun.or.jp/>

▶ アート・インキュベーションについて

CCBT のコアプログラムのひとつである「アート・インキュベーション」は、クリエイターに新たな創作活動の機会を提供し、そのプロセスを市民(シビック)に開放することで、都市をより良く変える表現・探求・アクションの創造を目指すプログラムです。公募・選考によって選ばれる 5 組のクリエイターは、「CCBT アーティスト・フェロー」として、企画の具体化と発表、創作過程の公開やワークショップ、トークイベント等を実施し、CCBT のパートナーとして活動します。

▶ 本展の取材申し込み・お問い合わせ先

シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]

PR 事務局(アンティル内) 担当: 村田・勝田・豊崎・駒場

TEL: 03-5572-7375

FAX: 03-4335-8385

MAIL: ccbt_pr@vectorinc.co.jp

*本展に関する事以外の作家へのお問合せは√K Contemporary までご連絡をお願いいたします。

配信元/作家に関するお問合せ先: √K Contemporary (運営: SEI-RIN Co.,Ltd.) 担当: 渡邊

Address: 東京都新宿区南町 6 | Tel: 03-6280-8808 | Email: pr@sei-rin.com | URL: <https://root-k.jp>